

平成25年4月10日

各位

住友化学株式会社

STジベラ錠の登録内容変更に関するご案内

拝啓

時下ますますご隆盛の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。さて、首記の件、平成25年4月10日付けで使用制限を伴う登録変更が実施されましたので、下記の通りお知らせ申し上げます。

ご使用に際しましては、変更後の適用内容を遵守いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象となる農薬

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21318号	STジベラ錠	ジベレリン水溶剤	住友化学(株)

2. 登録変更の時期

平成25年4月10日（水）

3. 登録変更の内容

別紙の通り

4. 登録変更の理由

現在の登録内容の維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

5. 今後の対応

安全性に懸念の無い登録変更であるため、流通在庫品の回収などはいりません。

【お問い合わせ先】

住友化学株式会社 お客様相談室

電話：0570-058-669（ナビダイヤル）または 03-5543-5607

以上

【別 紙】

【変更内容】(下線部分は、使用制限に係る登録変更)

- ・作物名「ぶどう（シャインマスカットを除く 2 倍体欧州系品種）〔無核栽培〕」に使用目的「無種子化、果粒肥大促進」、使用濃度「ジベレリン 25ppm」を追加する。
- ・作物名「ぶどう（シャインマスカットを除く 2 倍体欧州系品種）〔無核栽培〕」と「ぶどう（シャインマスカット）〔無核栽培〕」を統合する。

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (2 倍体欧州系品種) 〔無核栽培〕	無種子化 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 25ppm 第 2 回目 ジベレリン 25ppm	満開時～満開 3 日後 (第 1 回目) 及び 満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内	第 1 回目； 花房浸漬 第 2 回目； 果房浸漬	2 回以内、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内
		ジベレリン 25ppm	満開 3～5 日後 (落花期)	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内	花房浸漬 (ホルクロルフェニロン 10ppm 液に加用)	

- ・作物名「ぶどう（巨峰、ルビーロマン）〔有核栽培〕」を「ぶどう（巨峰、ルビーロマン、ハニービーナス）〔有核栽培〕」に変更する。

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう（巨峰、 ルビーロマン、 ハニービーナス） 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ジベレリン 25ppm	満開 10～20 日後	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内	果房浸漬	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内

- ・作物名「さやいんげん（矮生（促成又は半促成栽培））」の使用目的「節間伸長促進」の使用回数を「1 回」から「2 回以内」に変更し、ジベレリンを含む農薬の総使用回数を「2 回以内（種子への処理は 1 回以内、は種後は 1 回以内）」を「3 回以内（種子への処理は 1 回以内、は種後は 2 回以内）」に変更する。

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
さやいんげん (矮生(促成又は半促成栽培))	節間伸長促進	ジベレリン 5ppm	本葉 0.5～1.5 枚展開時	2 回以内	茎頂部に株当たり 2 mL 散布	3 回以内 (種子への処理は 1 回以内、は種後は 2 回以内)

次頁に続く

前頁より続く

- ・作物名「温州みかん」の使用目的「花芽抑制による樹勢の維持」の使用目的「立木全面散布又は枝別散布（プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用）」を「立木全面散布又は枝別散布（プロヒドロジャスモン 1000～2000 倍液に加用）」に変更する。
- ・作物名「温州みかん」の使用目的「落果防止」に使用濃度「ジベレリン 10ppm」、使用方法「散布（プロヒドロジャスモン 1000～2000 倍液に加用）」を追加する。

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 1000～2000 倍液に加用)	3 回以内
	落果防止		開花始め～満開 10 日後		散布 (プロヒドロジャスモン 1000～2000 倍液に加用)	

- ・作物名「きゅうり（抑制栽培）」の使用目的「果実肥大」を削除する。
- ・作物名「畑わさび」の使用時期「花芽分化後の 10 月下旬（第 1 回目）及び第 1 回目処理後約 10 日後の 11 月上旬(第 2 回目)、但し、収穫 45 日前まで」を「花芽分化後の 10 月下旬（第 1 回目）及び第 1 回目処理後約 10 日後の 11 月上旬(第 2 回目)、但し、収穫 60 日前まで」に変更する。

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
畑わさび	花茎の抽出 時期促進及び 発生量増加	第 1 回目 ジベレリン 100ppm 第 2 回目 ジベレリン 100ppm	花芽分化後の 10 月下旬 (第 1 回目)及び 第 1 回目処理後 約 10 日後の 11 月上旬 (第 2 回目) 但し、収穫 60 日前まで	2 回	株の中心部に 2mL 散布	3 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、 は種後は 2 回以内)

次頁に続く

前頁より続く

- ・「適用病害虫の範囲及び使用方法」に「使用液量」の項を追加する。「使用方法」に書かれている使用液量に関する記載は、「使用液量」の項に転記する。

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (ヒムロッド・シートレスを除く2倍体米国系品種) 〔無核栽培〕	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 100ppm 第2回目 ジベレリン 75～100ppm	果房散布の場合は 30～100 L/10a	満開予定日約14日前 (第1回目)及び 満開約10日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬 又は果房散布	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内
ぶどう (ヒムロッド・シートレス)	果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm	—	着粒後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう (デラウェア) 〔無核栽培〕	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 100ppm 第2回目 ジベレリン 75～100ppm	果房散布の場合は 30～100 L/10a	満開予定日約14日前 (第1回目)及び満開約10日後 (第2回目) 満開予定日18～14日前 (第1回目)及び満開約10日後 (第2回目)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬 又は果房散布 第1回目：花房浸漬 (ホルクロルフェニロン 1～5 ppm 液に加用) 第2回目：果房浸漬 又は果房散布	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内
ぶどう (キャンベル・アーリーを除く2倍体米国系品種) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ジベレリン 50ppm	—	満開10～15日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう (キャンベル・アーリー) 〔有核栽培〕	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	満開予定日 約20～30日前 (展葉3～5枚時)	1回	花房散布	2回以内、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計3回以内
ぶどう (2倍体 欧州系品種) 〔無核栽培〕	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 25ppm 第2回目 ジベレリン 25ppm ジベレリン 25ppm	—	満開時～満開3日後 (第1回目)及び 満開10～15日後 (第2回目) 満開3～5日後 (落花期)	2回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内 1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬 花房浸漬 (ホルクロルフェニロン 10ppm 液に加用)	2回以内、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内
ぶどう (ヒロハナブルグを除く2倍体欧州系品種) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ジベレリン 25ppm	—	満開10～20日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内
ぶどう (ヒロハナブルグ) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ジベレリン 50～100ppm	果房散布の場合は 70～80 L/10a	満開10～15日後	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内	果房浸漬 又は果房散布	1回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内

次頁に続く

前頁より続く

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (キングデラ、 ハニーシートレスを除く 3 倍体品種)	着粒安定	第 1 回目 ジベレリン 25～50ppm 第 2 回目 ジベレリン 25～50ppm	—	満開時～満開 3 日後 (第 1 回目)及び 満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬	2 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内
ぶどう (キングデラ)	果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 50ppm 第 2 回目 ジベレリン 50～100ppm	果房散布の場合は 50～100 L/10a		2 回	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬 又は果房散布	2 回
ぶどう (ハニーシートレス)	着粒安定 果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm		満開 3～6 日後	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内	花房又は果房浸漬	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内
ぶどう (サニールージュを除く 巨峰系 4 倍体品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 12.5～25ppm 第 2 回目 ジベレリン 25ppm	—	満開時～満開 3 日後 (第 1 回目)及び 満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬	
		ジベレリン 25ppm		満開 3～5 日後 (落花期)	1 回、但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内	花房浸漬 (ホルクロフェニロン 10ppm 液に加用)	
	無種子化	ジベレリン 12.5～25ppm		満開時～満開 3 日後		花房浸漬 (満開 10～15 日後に ホルクロフェニロンによる果 粒肥大促進処理を行うこと)	
	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	展葉 3～5 枚時	1 回	花房散布	
ぶどう (サニールージュ) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 12.5～25ppm 第 2 回目 ジベレリン 25ppm	—	満開時～満開 3 日後 (第 1 回目)及び 満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬	3 回以内、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 5 回以内
		ジベレリン 25ppm		満開 3～5 日後 (落花期)	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内	花房浸漬 (ホルクロフェニロン 10ppm 液に加用)	
	無種子化	ジベレリン 12.5～25ppm		満開時～満開 3 日後		花房浸漬 (満開 10～15 日後に ホルクロフェニロンによる果 粒肥大促進処理を行うこと)	
	果房伸長促進	ジベレリン 3～5ppm	30～100 L/10a	展葉 3～5 枚時	1 回	花房散布	
	着粒密度低減 果粒肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 25ppm 第 2 回目 ジベレリン 25ppm	—	満開予定日 14～20 日 前(第 1 回目) 及び満開 10～15 日後 (第 2 回目)	2 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内	第 1 回目：花房浸漬 (ホルクロフェニロン 3ppm 液に加用) 第 2 回目：果房浸漬	

次頁に続く

前頁より続く

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (巨峰、ルビー・ロマン、 ハービー・ナス) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン 25ppm	—	満開 10～20 日後	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は 合計 2 回以内	果房浸漬	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は 合計 2 回以内
ぶどう (高尾)		ジベレリン 50～100ppm		満開時～満開 7 日後		花房又は果房浸漬	
ぶどう (あづましずく)		第 1 回目 ジベレリン 25～50ppm 第 2 回目 ジベレリン 50ppm		満開時（第 1 回目） 満開 4～13 日後 （第 2 回目）	2 回以内、 但し降雨等により再処理を行う場合は合 計 4 回以内	果房浸漬	2 回以内、 但し降雨等により再処理を行う場合は 合計 4 回以内
ぶどう (ふくしずく)		ジベレリン 50～100ppm		満開時～満開 7 日後	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は 合計 2 回以内	花房又は果房浸漬	1 回、 但し降雨等により再処理を行う場合は 合計 2 回以内
かんきつ (不知火、ぼんかん、 かぼす、はるみ、ワシントンネーブル、 日向夏、すだち、平兵衛酢、 長門ユズキ(無核)、温州みかん、 きんかんを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後	1 回	立木全面散布 又は枝別散布	1 回
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
不知火 はるみ	花芽抑制による樹勢の維持		50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	3 回以内
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5～1ppm	50～500 L/10a	着色終期 但し、収穫 7 日前まで		果実散布	
ぼんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1 回
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5ppm	50～500 L/10a	着色始期～4 分着色期 但し、 収穫 21 日前まで		果実散布	
長門ユズキ (無核)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
	着果安定	ジベレリン 50ppm		開花期～開花終期		花又は果実散布	
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 10～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 14～30 日前		果実散布	
すだち 平兵衛酢 かぼす	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1 回
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～ 満開 10 日後		散布	
	果皮の 緑色維持	ジベレリン 10～25ppm	50～400 L/10a	収穫予定 14～30 日前		果実散布	
ワシントンネーブル	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約 1 ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1 回
	落果防止	ジベレリン 500ppm	30～40 L/10a	満開 10～20 日後の 幼果期		幼果に散布	

次頁に続く

前頁より続く

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
日向夏	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	1回
	無種子化 落果防止	ジベレリン 300～500ppm	30～40 L/10a	満開 7～10 日後		果実散布	
温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	3回以内
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒトロジヤスモン 1000～2000 倍液に 加用)	
	落果防止		50～100 L/10a	開花始め～満開 10 日後		散布 (プロヒトロジヤスモン 1000～2000 倍液に 加用)	
						散布	
	浮皮軽減	ジベレリン 3.3～5ppm	100～400 L/10a	収穫予定日の3ヶ月前 但し、 収穫 45 日前まで		果実散布 (プロヒトロジヤスモン 1000～2000 倍液に 加用)	
きんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止			開花始め～満開 10 日後		散布	
	着果安定	ジベレリン 300ppm	30～60 L/10a	一番花開花期		花に散布	
びわ (3 倍体)	着果安定 果実肥大促進	第 1 回目 ジベレリン 200ppm 第 2 回目 ジベレリン 200ppm	—	満開予定日約 7 日前～ 満開時(第 1 回目) 及び 第 1 回目処理後 35～60 日(第 2 回目)	2回	ホルクロフェニロン 20ppm 液に加用 第 1 回目：花房浸漬 第 2 回目：果房浸漬	2回
アセロラ	着粒安定	ジベレリン 25ppm	100～400 L/10a	開花期	1 花当り 1 回	花に散布	1 花そう当り 3 回以内
野菜類	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm	—	は種前	1 回	種子浸漬	1 回
みつば (軟化栽培を除く)	生育促進	ジベレリン 10ppm	50～100 L/10a	本葉 2～3 枚時 (第 1 回目) とその 2 週間後 (第 2 回目) 但し、収穫 14 日前まで	2 回	葉面散布	3 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、 は種後は 2 回以内)
みつば (軟化栽培)		ジベレリン 20～50ppm		根株伏込時	1 回	根株上面に散布	2 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、根 株伏込時は 1 回以内)
トマト	空どう果防止	ジベレリン 10ppm	1 花房当り 5mL	開花時	1 花房当り 1 回	花房散布 (トマト落果防止剤と 併用)	種子への 処理は 1 回、 1 花房当り 1 回
なす	着果数増加	ジベレリン 10～50ppm	100～150 L/10a		1 回	葉面散布	2 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、は 種後は 1 回以内)
さやいんげん (矮性(促成又は 半促成栽培))	節間伸長促進	ジベレリン 5ppm	1 株当り 2mL	本葉 0.5～1.5 枚 展開時	2 回以内	茎頂部散布	3 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、は 種後は 2 回以内)

次頁に続く

前頁より続く

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数	
しそ (花穂)	穂の伸長促進	ジベレリン 5ppm	50L/10a	出穂期 但し、収穫7日前まで	1回	茎葉散布	2回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は1回以内)	
セルリー	生育促進 肥大促進	ジベレリン 50～100ppm	20～100 L/10a	収穫予定 15～20日前		葉面散布		
いちご (促成栽培)	着果数増加 熟期促進	ジベレリン 10ppm	1株当たり 5mL	休眠に入る直前 (冬場の低温期)	1株当たり 6回以内	茎葉全面散布	1株当たり 10回以内	
いちご	果柄の 伸長促進			頂花の出蕾直後～ 開花直前	1花房当たり 1回	株の中心部に散布		
いちご (親株床)	ランナー発生促進	ジベレリン 50ppm	1株当たり 10mL	採苗時 ランナー発生直前～ 発生初期	1株当たり1回	茎葉散布	1株当たり1回	
メロン	着果促進	ジベレリン 200ppm	1花当たり 2～5mL	開花前日～翌日	1花当たり 1回	散布(4-CPA 剤 50倍液に加用)	種子への 処理は1回、 1花当たり1回	
うど (春うど)	休眠打破に よる生育促進	ジベレリン 50ppm	1株当たり 20～25mL	伏込時	1回	根株散布	1回	
		ジベレリン 50～100ppm	—			根株浸漬		
たらのき (促成栽培)	萌芽促進	ジベレリン 50ppm	100～200 mL/m ²			駒木散布		
ふき	生育促進	ジベレリン 25ppm	50～300 L/10a			葉数3～4枚時 (草丈10～30cm頃)		全面散布
畑わさび	花茎の抽出 時期促進 及び 発生量増加	第1回目 ジベレリン 100ppm 第2回目 ジベレリン 100ppm	1株当たり 2mL	花芽分化後の10月下旬 (第1回目)及び 第1回目処理後 約10日後の11月上旬 (第2回目) 但し、収穫60日前まで	2回	株の中心部に 散布	3回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 2回以内)	
シクラメン	開花促進	ジベレリン 1～5ppm	1株当たり 2～5mL	9月中・下旬	1回	花蕾を含む芽の 中心部に散布	1回	
プリムラ (マラコイデス)		ジベレリン 10～20ppm		11月上旬頃の 花蕾出現直後		株の中心部に 散布		
みやこわすれ	開花促進 草丈伸長促進	ジベレリン 50～100ppm	1株当たり 10～15mL	1月中旬の 保温開始時から 7～10日間隔	3回	葉面散布	3回以内	
きく		ジベレリン 25～100ppm	50～100 L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2回以内	
しらん		ジベレリン 50ppm	—	植付時	1回	30分間株浸漬	1回	
りんどう	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm		は種前		種子浸漬	2回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 1回以内)	
	生育促進	ジベレリン 100ppm	50～150 L/10a	定植直前または 定植1～5週間後		茎葉散布	2回以内	
カラー		ジベレリン 50ppm	—	植付時		球根浸漬		
		50～150 L/10a	花茎伸長期	茎葉散布		1回		
アイリス		ジベレリン 50～100ppm	—	植付時			球根浸漬	
スパティフィラム	開花促進	ジベレリン 250～500ppm	30～40 L/10a	出荷予定期の 2～3ヶ月前			茎葉散布	
トルコギキョウ	生育促進	ジベレリン 50～100ppm		生育期間中に 咲き出した時				
花き類 (りんどうを除く)	発芽促進	ジベレリン 50～200ppm	—	は種前		種子浸漬	1回	
アザレア	開花促進	ジベレリン 250～500ppm	30～40 L/10a	開花予定日 約1ヶ月前		茎葉散布		

次頁に続く

前頁より続く

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
さつき (施設栽培苗)	茎の伸長促進 花芽分化の抑制	ジベレリン 100～200ppm	50～100 L/10a	茎の伸長初期～ 伸長終期 (開花盛期以降) 1～2 週間間隔	3 回	頂芽に十分散布	3 回以内
さくら (切り枝促成栽培)	休眠打破による生育促進	ジベレリン 25～50ppm	50～200 L/10a	休眠期	1 回	切り枝全面散布	1 回
			—			切り枝浸漬	

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」の記載内容を以下のとおり変更する。

〔2〕使用上の注意

(1) ぶどう

「ぶどう（巨峰、ルビーロマン）〔有核栽培〕に果粒肥大促進の目的で使用する場合は、早めの処理により無核化率が増加する傾向があるので、有核粒の結実を確認してから処理すること。」を、「ぶどう（巨峰、ルビーロマン、ハニービーナス）〔有核栽培〕に果粒肥大促進の目的で使用する場合は、早めの処理により無核化率が増加する傾向があるので、有核粒の結実を確認してから処理すること。」に変更する。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。